



12月1日奉修された天台宗全国一斉托鉢では、コロナ禍のなか森川宏映天台座主猊下の同級生が浄財喜捨に駆けつけられ、猊下との絆を深められた。

千二百年の昔、「一隅を照らす人こそが國の宝である」と、一人ひとりが輝くあたたかい世を目指された伝教大師最澄様。臨終のときには「我が為に仏を作ることなかれ、経を写すことなかれ。我が志を述べよ」と仰せになりました。来年迎える「伝教大師一千二百年大遠忌」においても変わらぬ祈りを捧げ、宗祖の御心を伝えていかねばなりません。

人々が改めて自身が持つ「ほとけ心」に気付き、慈悲の光が心を覆う暗闇を取り払うように。他を利する働きに努め、世界中が安らかな光に包まれますように。



発行所
比叡山時報社
□jihoh@deluxe.ocn.ne.jp
〒大津市坂本町4220
郵便番号 520-0116
電話 077-578-0001
振替 00970-2-9732
宗教法人延暦寺事務所
定価 1部110円 年1200円

延暦寺広報

会報

年度会費(3000円)中に会報(比叡山時報)購読料を含む。

令和2年比叡山から
一々の勞を惜します
不惜一勞

發信する言葉



こちらから
ご購読は

このごく小さなウイルスが、人の体だけでなく心にも計り知れないほどの大きな影響を与えることをつくづく思い知らされました。不満、不平、迷い、心配、嫉み、羨み、怒り、憎しみ、咎め、焦燥、無力感、悲愴感…私たちには目に見えない恐怖から湧き起こる分厚い黒雲を追い払うことが出来ず、それによって人と人が築き上げた大切な「絆」さえ打ち砕かれそうになりました。しかしながら、皆が心をひとつに取り組んだ新しい生活様式は、様々な可能性を示唆してくれました。宗教者にあっては、布教のあり方や儀礼の執行方法について従前の形式にとらわれることなく、自身の信仰の表現について大いに考える機会を与えてくれました。

今から百年前、第一次世界大戦後の混乱が続くなかった「スペイン風邪」が世界中に吹き荒れ、日本においても多くの方が感染し命を落とされました。そんな折に「伝教大師一千百年大遠忌」は奉修されました。時の天台座主吉田源應猊下は、「開山以来欠かさず朝な夕な鎮護国家の為に祈りを続けてきた比叡山なればこそ、この未曾有の危機に際して人々が共に和し愛を顧みるように宗祖の遺法の宣傳に努力しなければならない」旨のお言葉を遣しておられます。

今年もいつも通り気忙しいような気がしてくる師走。ゆく年を振り返ると新型コロナウイルスに尽きることには誰もが異論ないことでしょう。

未だ世界中で終息の兆しが見えない中、これまで犠牲になられた人々に心から哀悼の意を表し、今も苦しんでおられる方々の一日も早いご回復をお祈り申し上げます。また、医療従事者を始め、多くの人々がご自身の本分につとめ、懸命にお取組みいただいていることにからの感謝と敬意を表します。

今年もいつも通り気忙しいような気がしてくる師走。ゆく年を振り返ると新型コロナウイルスに尽きることには誰もが異論ないことでしょう。

コロナ禍のなかに観る自身の「ほとけ心」



「疫神病除」と記され、頭上に「軍荼利明王」の種子「ウン」と記されている延暦寺一山大林院の角大師護符



秘仏毘沙門天をお祀りする毘沙門堂本堂の内陣



全国の元三大師信仰の中心である比叡山横川の元三大師堂（四季講堂）

比叡山には、常行三昧といふ修法があるが、これを終えたある行者が、90日間に及ぶ行中、疲れのつらさの緩みや怠けが生じ、不眠不休の

無私無欲で四恩に感謝する

伝教大師の御こころを伝える鎮将夜叉法
毘沙門堂門跡門主に今出川師

去る8月24日、天台宗務所において門跡寺住職推薦委員会が開かれ、京都五箇宿門跡の一つである毘沙門堂門跡の新門主に、延暦寺一山大林院住職今出川行雲が選ばれた。11月19日、就任された。

今特集は毘沙門堂門跡を紹介すると共に、新門主の就任に際しての抱負をお伺いした。また、厄除け疫病除けで知られる慈恩（元三）大師の執事として元三大師堂でお仕えされた経験から、新型コロナウィルスによる「災禍の年」のなかで信仰はどうあるべきなのかをお聴きした。

毘沙門堂門跡とは

毘沙門堂門跡は、京都

市山科区にある天台宗京

都五箇宿門跡の一つ、

正式名は護法山安國院出

本尊とし、山科毘沙門堂

山城の豪族出雲氏（京都）



「勅使門」につながる石段の参道は、「敷もみじ」との名称でJR各社や京阪電気鉄道などの観光推進ポスターとして起用されるほど素晴らしい光景

今出川新門主に聞く

「信仰と見えないものへの畏怖」

元三大師への信仰

比叡山には、常行三昧といふ修法があるが、これを終えたある行者が、90日間に及ぶ行中、疲れのつらさの緩みや怠けが生じ、不眠不休の

姿ではなく、身体は黒で顔は

たまごのように、その変化

・化身の形で今は思っていない。

初期に戒光院大転僧都によつて著された『元三大師』

・身の形で今は思っていない。

・身の形で今は思っていない。